

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の方針を共有し確認しているが、認知症になっても自分らしく有する力を発揮しながら、地域で暮らし続けることへの支援である地域密着型サービスのグループホームの意義と理念の理解が課題。	法人の理念よりもグループホームの理念と地域密着型サービスとして果たす役割を職員全員が周知し、その理念と目的とを結び付けて常に検討・実行していく。	毎週火曜日の朝礼で法人の理念に加えてグループホームの理念も唱和し、全ての職員がその意義とグループホームの役割を理解・実行できるよう会議等で話し合う。	3ヶ月
2	40	利用者と同じ料理での食事を摂っている職員は毎回1名のみで、利用者と同じテーブルで食事している職員は各ユニット1名ずつであるが、共同生活である理念からその時の職員全員が同じメニューで同じ席であるべき、と指摘を受けた。	共同生活の理想である「全職員が利用者と同じメニューで同席して食事すること」に少しでも近づけるよう業務・勤務内容を検討する。	食事の調理をなるべく利用者と一緒にしてもらっていて、昼食は約2時間半の調理時間で18名+5~6名分となるので、今の業務内容では時間的にかなり難しく、食事時間が全職員の休憩時間ではなくなる為根本的な勤務内容の見直しを図り、指摘を受けたように利用者と共に調理することよりも同じメニューと一緒に食事する方が優先されるべきなのかということも含め、検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。